

適切なケアマネジメント手法にもとづく 疾患別アセスメント研修 オンラインセミナー開催

全6回の第1弾

2021年6月に厚労省が公表した「適切なケアマネジメント手法の手引き」を参考に弊社では、2022年度から社内スタッフ向けに研修を行っています。2023年度も同じ内容の研修を実施しますが、地域の関係者の皆さまとも一緒に学んでいきたいとの想いで、公開型オンラインセミナー【全6回】を開催いたします。

第1弾としまして、今回は「**脳血管疾患ケア**」をテーマに行います。講師は、社内の専門職スタッフが担当いたします。いまずぐに実践したくなる、しかも、現場に即した内容です！奮ってご参加ください！

開催日時：10月27日（金）14時～16時
開催形式：zoomによるオンライン形式
お申込み：下記のQRコード経由又はメールアドレス宛てに事前にお申込みください

弊社スタッフと一緒にグループワークも実施
グループワークでは発言する場面があるため、恐れ入りますが、発言する際に周囲に影響しない環境確保をお願いします。

開催日時 ★第2弾以降は予定

セミナー内容・テーマ

今回 第1弾	10月27日（金）14時～16時	脳血管疾患ケア
第2弾	2023年12月13日（水）★予定	認知症ケア★予定
第3弾	2024年1月26日（金）★予定	筋骨格系疾患ケア★予定
第4弾	2024年2月28日（水）★予定	内蔵機能不全ケア★予定
第5弾	2024年3月26日（火）★予定	誤嚥性肺炎の予防★予定
第6弾	2024年4月19日（金）★予定	基本的ケア★予定

「適切なケアマネジメント手法の手引き」は、さまざまな領域の専門職が集まる介護現場において、一人一人のケアマネジメントの質を一定水準以上に保つための基本知識と、多職種とのスムーズな連携を図るための共通言語となります。いままでの現場の諸先輩の知見を体系化した内容です。

お申込方法

10/25(水)迄に

右記のQRコード経由
または
メールアドレス宛てに
お申込みください。
受付後、zoom入室
アドレスを返信します。



【メールアドレス】
s-iizuka@tnbls.co.jp

「適切なケアマネジメント手法」って何だろう？

「適切なケアマネジメント手法」の手引きより 参照

**Q. 「適切なケアマネジメント手法」とは
そもそも何か？**

**A. 現場の諸先輩の知見を積み上げたもの。
「プランの標準化」が目的ではない。**

ケアマネジメントの目的は、利用者の尊厳を保持し、その人らしい生活の継続を支えることです。その目的を達成するため、現場のケアマネジャーの諸先輩は「想定される支援内容」を見立てるための知見（手法）を積み上げてきました。

そうした知見によって得られた「想定される支援」のなかから「共通化できるもの」を体系化し、アセスメント・モニタリングの項目に整理したのが「適切なケアマネジメント手法」です。従来のケアマネジメントを否定したものではありません。

この「手法」は、「基本ケア」と「疾患別ケア」で構成されています。

「基本ケア」は、すべての利用者に共通して「想定される支援」をまとめたもの。

「基本ケア」に、疾患ごとに共通する知見を上乗せしたのが「疾患別ケア」です。

この「基本ケア」と「疾患別ケア」により、「想定される支援」を見立てる力の水準アップが期待されます。一定の水準が保持できれば、利用者ごとに異なる尊厳や生活のあり方をとらえるスキルも高まります。その点では、**プランの標準化を目指すものではなく、むしろ利用者の個別性をきちんと反映させたプラン作成に必要なもの**です。



疾患別ケア
(疾患に応じて
特に留意すべき詳細の内容)

基本ケアを押さえたうえで
疾患別のケアを押さえる

基本ケア
(高齢者の機能・生理)

疾患や状態によらず、
共通して重視すべき事項

**Q. なぜ、今必要とされているのか？
国が強く打ち出してきた背景とは？**

**A. 支援の抜け漏れを防ぎ、ケアチーム内の
「共通言語」を確立するため**

ケアマネジャーの知見の多くは、「個人の仕事のやり方」というレベル（暗黙知）にとどまり、後進のケアマネジャーに共有されづらいのが現実です。

そのため、利用者の生活機能の維持・向上を図るのに、ケアマネジャーごとに「想定される支援」の見立てに抜け漏れが生じやすくなります。

ケアマネジャーの支援に抜け漏れが生じると、多職種によるケアチーム内でもサービス担当者会議等で「生活の継続のために何が必要か」を検討するための前提がバラバラになりがちです。

そこで、「適切なケアマネジメント手法」を通じて多職種が同じ方向を向いて検討を進めやすくするための「共通言語」が目指されました。